

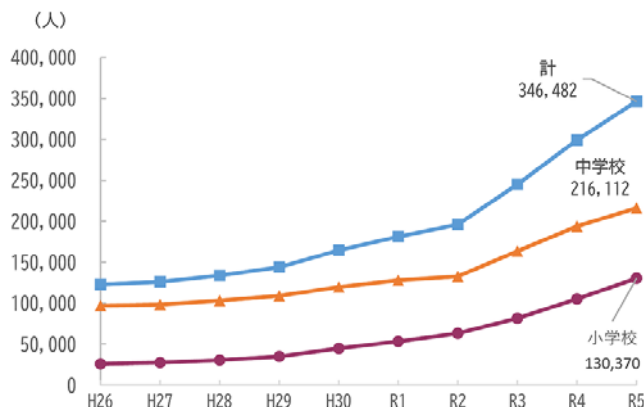


「不登校」の現状

■ 10月31日に文部科学省より令和5年度の全国の不登校児童生徒数の推移の調査結果が公表されました。

先日、旭川市PTA連合会の教育懇談会において、旭川市の不登校についての質問があり、旭川市教育委員会からの回答では、旭川市の不登校児童生徒数も、全国、全道と同様の推移で年々増加している状況にあることや不登校の原因については、複合的な要因による場合が多く、唯一の原因を特定することが難しいケースがほとんどであること、また不登校の主たる要因としては、「無気力・不安」や「生活リズムの乱れ、あそび、非行」などが多く見られる状況となっていることが報告されています。

不登校児童生徒数の推移



※令和6年10月31日 文部科学省発表

「不登校」への対応について

■ 文部科学省では、

- 1 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
- 2 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
- 3 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

の3つの姿を目指す不登校対策COCOLOプランを取りまとめました。このプランは、学校に通えない子供たちに、学校に通うことのみを目標にするのではなく、もし学校に通えていなくても、自分の進路や将来を考えて、社会的に自立することを目指しています。旭川市や高台小もこのプランに沿って取組を進めています。

■旭川市や高台小での取り組み

1 学びたい時に学べる場の環境

- ・教室に入ることができない場合は、別室での学習などの対応も検討できます。
- ・学校外の施設や旭川市の教育支援センター「ゆっくらす」などの利用も可能です。
- ・教科や内容にもよりますが、自宅からのオンライン学習も可能です。

2 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する

- ・担任だけでなく、同学年の教員、担任外の教諭や養護教諭やスクールカウンセラーなど複数の目で情報を共有し、支援しています。
- ・校内ではスクールカウンセラー、校外では旭川市子ども総合相談センターなど保護者の方の相談しやすい情報を提供し、相談機関との連携を図っています。

3 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

- ・一人一人の興味・関心等に応じた指導などそれぞれの持ち味を生かした前向きに学べる授業を目指します。
- ・学校評価の仕組みを活用し、授業への満足度や教職員への信頼感、学校生活への安心感を高めていきます。